

令和3年度 前期

「学生による授業評価」報告書

倉敷市立短期大学 自己評価専門部会

目 次

- 1 はじめに
 - 2 全体の概要
 - 3 全体の集計結果
 - 4 対象となる授業一覧
 - 5 資料
 - 5-1 授業評価票（別紙1）
 - 5-2 自己点検レポート（サンプル）（別紙2）
- 個々の授業別結果 及び 教員の自己点検レポート

1 はじめに

本報告書は、令和3年度 前期「学生による授業評価」および「教員の自己点検レポート」の結果をまとめたものである。今回も、非常勤講師を含めた全教員の授業を対象に授業評価を行った。

授業評価アンケートは紙媒体で行っており、コロナ感染拡大が広がる中、授業の残り3週間というところで、ほとんどの学生がオンライン受講を希望し、アンケートの回収は難しい状況になった。なお、履修者が1名以下の場合の授業は、学生個人が特定されるために調査していない。また、調査期間が新型コロナ感染状況を考慮し、オンライン授業となるものも多く、紙媒体にて調査を行っている現状では、実施が不可能となった科目も多くあった。非常勤講師も含め、回収率向上のための手立てが必要と思われ、次年度からのオンライン化が急務である。

授業評価の必要性の認識は学内に定着しつつある。今後その効果を有効化させしていくために授業評価の必要性や活用についてのFDが必要である。また、2019年に始まった新型コロナウイルス感染症流行により、授業にも大きな影響が及んでいる。運営側も受講側も日々試行錯誤を繰り返している中、この授業アンケートが学生と教員の橋渡しの役割を担うものとなることを期待する。

2 全体の概要

1 学生による授業評価

1-1 はじめに

本学は、平成 20 年度前期から、非常勤講師を含む全教員の全授業を対象にした、学生による授業評価に着手した（それまでは常勤教員が自分の授業の一部を選んで実施していた）。この評価は、個々の授業内容や方法の改善を通して、大学全体の教育力を高めることを目的として、前後期の授業終了時に実施されている。

1-2 本授業評価の目的は、(1)教育内容や方法の改善、(2)成果や課題の蓄積、(3)学生をはじめとするステークホルダーに向けての説明責任、(4)学生の学習態度の反省と学習意欲の向上を図ることである。

授業評価票（別紙 1）は、授業に対する学生自身の自己評価として、出席状況や学習に対する意欲、課外学習の状況などを自己評価するセクションと、授業の内容や授業の方法について学生が評価するセクションとの 2 部構成になっている。また、授業の特性が評価に反映されるように、教員が任意に設問を追加することもできる。さらに、自由記述欄も設けてあり、学生は、授業に関する意見や感想を自由に記載してよいことになっている。

2 集計と結果のフィードバック

集計結果は、全体のデータをまとめるとともに、個々の授業別結果（サンプルは別紙 2）を授業担当教員にもどし、教員による自己点検レポート作成の基礎資料としている。各授業の各項目について、大学全体の 5 段階の平均値が示されており、自身の評価と全体の評価を比較しやすいように工夫されている。

3 教員による「自己点検レポート」の作成

常勤・非常勤を問わず、本学の全教員は、学生による授業評価結果をもとに、全ての授業についての「自己点検レポート」を提出(サンプルは別紙 3)する。自己点検レポートは、「学生に対する真摯な対応」と「学生のアンケート結果を授業の改善や教育力向上に役立てること」を目的に、教員が自らの授業をふり返り、気づきや改善点などを 300 字程度のレポートにて提出してもらう制度である。具体的には、学生による授業評価結果を踏まえ、以下の点について自己点検することになっている。

- 1 前回からの改善点（前回調査時の課題がどのような方法で、どの程度改善されたか記入してください。）
- 2 授業評価結果についての分析（「どんな問題点を見出し、その原因をどのように捉えたか」）
- 3 「上記の分析を踏まえた今後の授業改善に向けての具体的取り組み
- 4 授業改善に向けて必要だと思われる教育環境・条件整備上の課題
- 5 今回の授業評価の実施方法等に関する意見

4 公開

学生による授業評価結果と教員の自己点検レポートについては、電子データと印刷物として学内で保管されており、自由に閲覧が可能である。また、個々の授業評価結果の詳細を除く、大学全体の評価結果については、大学の WEB で公開している。

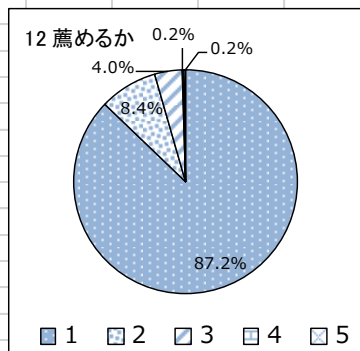
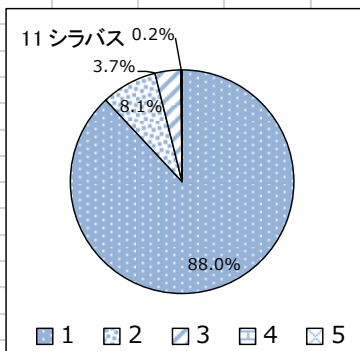
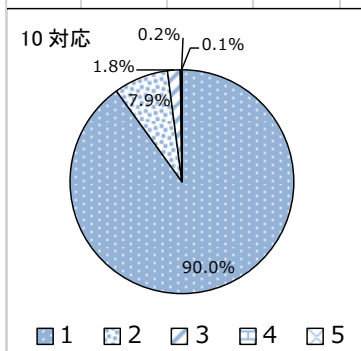
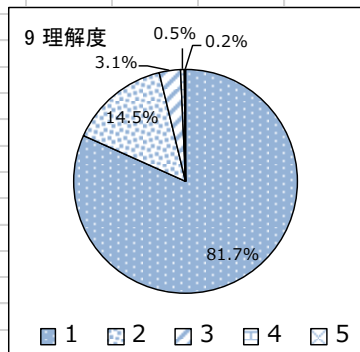
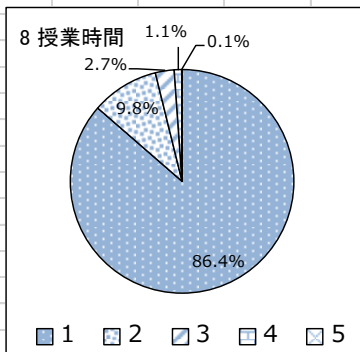
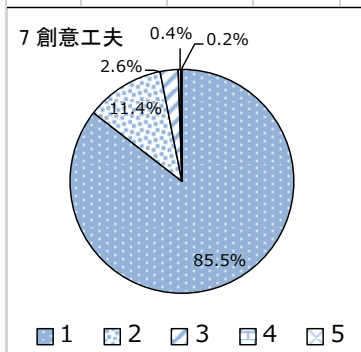
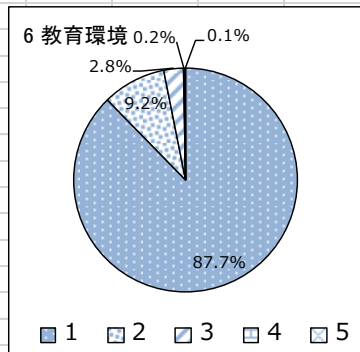
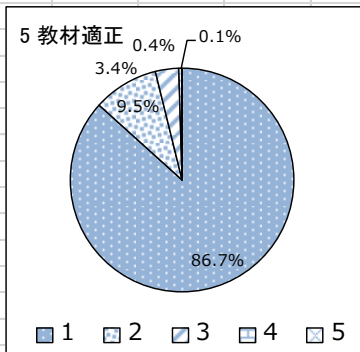
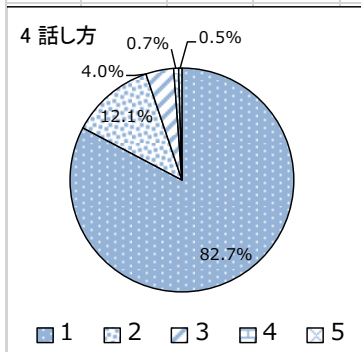
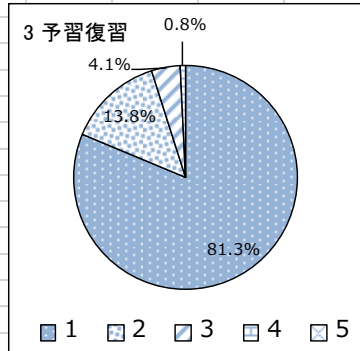
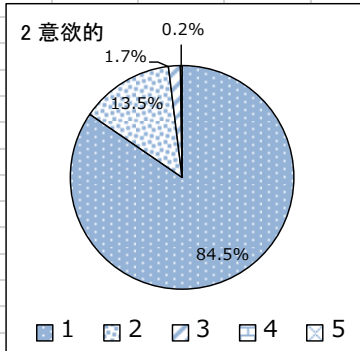
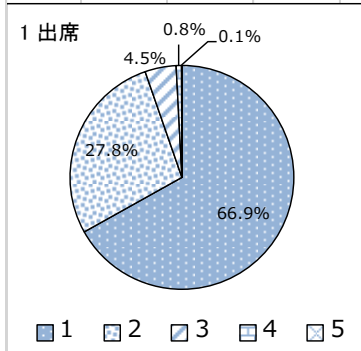
3 全体の集計結果

令和3年度後期の授業評価の全体の結果について、いずれの設問でも肯定的な回答が90%以上である。学生自身の授業態度について、設問の「出席」の1の回答が66.9%ではあったが、これを除く全項目について1の回答は80%代で、2の回答と合わせた肯定的評価が90%以上であった。

ハイフレックス授業の影響として、「教材適正」、「理解度」については注目すべきところであるが、「教材適正」は1の回答が86.7%、2の回答と合わせると96.2%、「理解度」は1の回答が81.7%、2の回答と合わせると96.2%だった。これらは、例年の結果との差は認められないものであった。

全体的な評価は高かったが、各授業の特性から今後も科目ごと検討を重ねていくことが望まれる。

まとめ												調査案件数: 1689
選択肢	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12
	出席	意欲的	予習復習	話し方	教材適正	教育環境	創意工夫	授業時間	理解度	対応	シラバス	薦めるか
1	1130	1428	1373	1397	1464	1481	1444	1459	1380	1520	1486	1467
2	469	228	233	204	160	155	192	165	245	133	136	141
3	76	29	70	68	57	48	44	46	52	31	63	67
4	13	4	13	12	7	4	6	18	9	3	3	4
5	1	0	0	8	1	1	3	1	3	1	0	4
	1689	1689	1689	1689	1689	1689	1689	1689	1689	1688	1688	1683



4 対象となる授業一覧

令和3年度前期授業科目

科目番号	講義名	担当教員	調査	レポート	学科
基礎科目					
1003	国語表現	海本	○		保育・服飾美術
1007	数学	大原	○	○	保育・服飾美術
1009	経営学入門	岩崎	○	○	保育
1010	経済学入門	唐澤	○	○	保育
1011	キャリアデザイン	佐藤（由）	○	○	保育・服飾美術
1012	情報機器の操作 I	大原	○	○	保育
1014	情報処理演習 I	大原	○	○	服飾美術
1016	英語 I（コミュニケーション）	栗原	○	○	保育・服飾美術
1019	英語Ⅲ	栗原	○	○	保育・服飾美術
1021	フランス語 I	石井	○		服飾美術
保育学科					
2001	保育原理	小久保	○	○	保育
2003	子ども家庭福祉	井村	○	○	保育
2004	社会福祉	井村	○		保育
2007	保育者論	小久保	○	○	保育
2009	発達心理学 I	長櫓	○	○	保育
2012	子どもの保健	平岡			保育
2016	幼児教育課程論	木戸	○	○	保育
2017	保育方法技術論	瀧澤	○	○	保育
2018	保育内容総論	馬場	○	○	保育
2023	表現の指導法	金山・及川・別府	○	○	保育
2028	幼児と健康	及川・平岡	○	○	保育
2029	幼児と人間関係	木戸	○	○	保育
2030	幼児と環境	大江	○	○	保育
2031	幼児と言葉	溝手	○	○	保育
2048	幼児と歌唱表現Ⅱ	三川	○	○	保育

2049	幼児と造形表現	金山	○	○	保育
2050	幼児と身体表現	福武	○	○	保育
2053	乳児保育Ⅱ	小川	○	○	保育
2056	社会的養護Ⅱ	井村	○	○	保育
2058	保育実習Ⅰ(1)	木戸・大江	○	○	保育
2060	保育実習Ⅱ	木戸・大江	○	○	保育
2061	保育実習Ⅲ	長檜・寺井	○	○	保育
2063	保育実習法Ⅰ	木戸	○	○	保育
2064	保育実習法Ⅱ	木戸・脇本	○	○	保育
2065	保育実習法Ⅲ	長檜・寺井	○	○	保育
2067	教育実習法	小久保	○	○	保育
服飾美術学科					
3001	生活デザイン総論	服飾美術学科全教員	○	○	服飾美術
3004	服飾造形論	乾	○	○	服飾美術
3005	服飾造形実習Ⅰ 乾	乾	○	○	服飾美術
3006	服飾造形実習Ⅰ 武永	武永	○	○	服飾美術
3009	服飾造形実習Ⅲ	武永	○	○	服飾美術
3013	パターンメイキング(CAD)Ⅱ	乾	○	○	服飾美術
3014	デニム学	武永	○	○	服飾美術
3015	デニム学演習	武永	○	○	服飾美術
3017	服飾管理学	佐藤(希)	○	○	服飾美術
3018	服飾管理学実験	佐藤(希)・道明	○	○	服飾美術
3019	染色加工学	古濱	○	○	服飾美術
3020	服飾繊維学	道明	○	○	服飾美術
3021	服飾繊維学実験	道明	○	○	服飾美術
3024	服飾人間環境学	佐藤(希)	○	○	服飾美術
3026	服飾人間工学	佐藤(希)	○	○	服飾美術
3030	法学入門	高橋(正)	○	○	服飾美術
3034	ファッションビジネス	岩崎	○	○	服飾美術
3036	消費者調査法	岩崎	○	○	服飾美術
3040	経済政策論	唐澤	○	○	服飾美術

3042	アート造形技法演習Ⅰ	趙	○	○	服飾美術
3043	アート造形技法演習Ⅱ	趙	○	○	服飾美術
3044	モードデッサンⅠ	趙	○	○	服飾美術
3047	テキスタイルデザインⅠ	田中	○	○	服飾美術
3048	テキスタイルデザインⅡ	田中	○	○	服飾美術
3049	CG 基礎演習	竹島	○	○	服飾美術
3050	クリエイション論	上村	○	○	服飾美術
3052	ライフスタイルプロダクト演習	上村	○	○	服飾美術
3055	カラーコーディネート論	高橋（俊）	○	○	服飾美術
3056	染織Ⅰ	田中	○	○	服飾美術
3059	ビジュアルデザインⅠ	ウォルトン	○	○	服飾美術
3060	ビジュアルデザインⅡ	竹島	○	○	服飾美術
3063	基礎デッサン	野村	○	○	服飾美術
3064	人体デッサン	野村	○	○	服飾美術
3066	店舗空間演出演習	松内	○	○	服飾美術
3068	基礎デザイン	松内	○	○	服飾美術
3069	空間デザイン演習	松内	○	○	服飾美術
専攻科・関連科目					
4001	情報処理論	大原・唐澤	○	○	保育臨床専攻・ 服飾美術専攻
4002	国語表現法演習	海本	○		保育臨床専攻・ 服飾美術専攻
4003	スポーツⅠ	及川	○	○	保育臨床専攻
4007	立体制作論	松内	○	○	保育臨床専攻・ 服飾美術専攻
4009	色彩学	小田	○	○	服飾美術専攻
4010	ビジュアルアート論	佐々木	○	○	服飾美術専攻
4013	ドローイングⅠ	野村	○	○	服飾美術専攻
4015	造形表現	松内	○	○	服飾美術専攻
保育臨床専攻					
5007	音楽指導法特別演習Ⅱ	別府	○	○	保育臨床専攻

5008	造形指導法特別演習Ⅰ	金山			保育臨床専攻
5009	造形指導法特別演習Ⅱ	金山	○	○	保育臨床専攻
5011	劇指導法特別演習	溝手	○	○	保育臨床専攻
5012	教育の思想と歴史	小久保	○	○	保育臨床専攻
5014	特別支援教育特論	眞次	○	○	保育臨床専攻
5015	子どもの人権教育論	土井	○	○	保育臨床専攻
5016	発達心理学特論	長櫓	○	○	保育臨床専攻
5017	教育相談特論	長櫓	○	○	保育臨床専攻
5019	児童文化学特論	溝手	○	○	保育臨床専攻
5021	幼児の国際理解演習	栗原	○	○	保育臨床専攻
5024	乳児保育特論	平岡			保育臨床専攻
5029	子育て支援特論	眞次	○	○	保育臨床専攻
服飾美術専攻					
6003	パターンメイキング論	乾	○	○	服飾美術専攻
6005	服飾造形実技Ⅱ	乾	○	○	服飾美術専攻
6015	繊維・ファッション産業論	唐澤	○	○	服飾美術専攻
6016	地域経済論	唐澤	○	○	服飾美術専攻
6018	流通論	岩崎	○	○	服飾美術専攻
6024	アート演習Ⅰ	趙	○	○	服飾美術専攻
6025	アート演習Ⅱ	趙	○	○	服飾美術専攻
6027	テキスタイルデザイン演習Ⅰ	田中	○	○	服飾美術専攻
6028	テキスタイルデザイン演習Ⅱ	田中	○	○	服飾美術専攻
6031	衣服論	上村	○	○	服飾美術専攻
6034	ライフプロダクト演習Ⅱ	上村			服飾美術専攻
6035	アパレル産業研修	服飾美術学科全教員			服飾美術専攻

5-1 授業評価票（別紙1）

令和3年度 前期・後期 倉敷市立短期大学 授業評価 調査票

この授業評価調査は、講義内容の一層の充実と教材の開発・授業方法の改善を行うとともに、学生諸君の学習意識の自覚を喚起し、教員と学生の協働の下で、より質の高い授業を創造していくことを目的として、本学自己評価委員会が実施するものです。あなたの成績評価とは全く関係ありませんので、建設的な気持ちで以下の問いにお答えください。ご協力をよろしくお願いいたします。

自己評価専門部会

* 自由記述以外の回答はすべて、該当する番号を右端の回答欄に記入してください。

学科／専攻	1. 保育学科／専攻科(保育臨床専攻) 2. 服飾美術学科／専攻科(服飾美術専攻)
学年・所属	1. 1年 2. 2年 3. 科目等履修生

I あなた自身の授業態度についてお答えください。(わからない場合は、回答欄は空欄のまま
で結構です)

NO.	問い	選 択 肢
1	あなたはこの授業にどの程度出席しましたか。	1. 欠席しなかった 2. 1～2回欠席した 3. 3～4回欠席した 4. 5回欠席した 5. 6回以上欠席した
2	あなたはこの授業に意欲的に取り組みましたか。	1. 意欲的に取り組んだ 2. どちらかという、意欲的に取り組んだ 3. どちらともいえない 4. どちらかという、意欲的に取り組まなかった 5. 意欲的に取り組まなかった

3	あなたは、授業時間以外で、この授業の予習・復習や宿題・課題・レポートなどに、積極的に取り組みましたか。	1. 積極的に取り組んだ 2. どちらかという、積極的に取り組んだ 3. どちらとも言えない 4. どちらかという、積極的に取り組まなかった 5. 積極的に取り組まなかった
---	---	--

II この授業の評価についてお答えください。

NO.	評価項目（質問事項）	選 択 肢
4	教員の話し方は、明瞭でわかり易いものでしたか。	1. わかり易いものだった 2. どちらかという、わかり易いものだった 3. どちらともいえない 4. どちらかという、わかり易いものではなかった 5. わかりにくかった
5	使用テキスト、副教材（資料プリント等を含む）は、適切だと思いましたが。	1. 適切だと思った 2. どちらかという、適切だと思った 3. どちらともいえない 4. どちらかという、不適切だと思った 5. 不適切だと思った
6	授業を行う上での機器や機材等の教育的環境は、満足できるものでしたか。	1. 満足できた 2. どちらかと言うと、満足できた 3. どちらともいえない 4. どちらかという、満足できなかった 5. 満足できなかった
7	授業内容をより良く理解させるための創意・工夫が感じられましたか。	1. 創意・工夫が感じられた 2. どちらかという、創意・工夫が感じられた 3. どちらともいえない 4. どちらかという、創意・工夫は感じられなかった 5. 創意・工夫が感じられなかった
8	授業の特性を考慮した上で、授業の開始時間および終了時間は、満足できるものでしたか。	1. 満足できた 2. どちらかという、満足できた 3. どちらともいえない

		<ul style="list-style-type: none"> 4. どちらかという、満足できなかった 5. 満足できなかった
9	授業の内容は、十分に理解できましたか。	<ul style="list-style-type: none"> 1. 十分に理解できた 2. どちらかと言うと、理解できた 3. どちらともいえない 4. どちらかという、理解できなかった 5. 理解できなかった
10	教員は、学生からの授業内容や提出課題などの質問に適切に対応してくれましたか。	<ul style="list-style-type: none"> 1. 適切に対応してくれた 2. どちらかという、適切に対応してくれた 3. どちらともいえない 4. どちらかという、不適切な対応だった 5. 不適切な対応が多かった
11	シラバスに基づいて授業を展開しましたか。	<ul style="list-style-type: none"> 1. シラバスに基づいて展開した 2. どちらかという、シラバスに基づいて展開した 3. どちらともいえない 4. どちらかという、シラバスに基づいての展開ではなかった 5. シラバスに基づいての展開ではなかった
12	この授業内容について、他の人(とくに後輩たち)にも受講を薦めたいと思いませんか。	<ul style="list-style-type: none"> 1. 是非、薦めたい 2. どちらかという、薦めたい 3. どちらともいえない 4. どちらかという、薦めたくない 5. まったく、薦めたくない
追加質問 13		

自由記述	その他、気づいたことがあれば、自由に書いて下さい。
------	---------------------------

5-2 「自己点検レポート」(サンプル)(別紙2)

令和3年度 前期授業評価：自己点検レポート

担当教員氏名〔 〕

学科・専攻名〔 学科／ 専攻〕

授業評価 科目名〔 〕 授業番号〔 〕

*** 提出期限：令和4年4月22日(金)**

提出について(データファイルと紙媒体の両方)

・データファイル：

提出先：令和4年度自己評価専門部会(及川、oikawa@m.kurashiki-cu.ac.jp)(wordファイルで)

提出内容：ファイル名「授業自己点検 rep」の前に「授業番号・氏名・教科名」をつけてください。

・紙媒体：印刷したレポートの1部を事務局においてあるボックスに入れてください。

※字数：1・2については300字程度(必ず記入)、3・4は制限なし

- 1 前回からの改善点(前回調査時の課題がどのような方法で、どの程度改善されたか記入してください。)

- 2 今回の授業評価結果についての分析(「どんな問題点を見出し、その原因をどのように捉えたか」がわかるように、箇条書きで記載してください。)

3 上記の分析を踏まえた今後の授業改善に向けての具体的取り組み

--

4 授業改善に向けて必要だと思われる教育環境・条件整備上の課題

--

5 今回の授業評価の実施方法等に関する意見

--

2022年8月10日

倉敷市立短期大学 令和4年度 自己評価専門部会

保 育 学 科： 平岡 敦子、及川 直樹

服飾美術学科： 佐藤希代子、道明 伸幸

編 集 担 当： 平岡 敦子